

令和6年度 専門研修（断続研修） 代表授業研修会

「授業分析の方法について」

福岡教育大学 本多 壮太郎

R6.10.22 (火) 於 岡垣町立岡垣中学校

本日の授業研修会・授業分析のねらい

個人研究テーマに基づいた代表授業研修会を実施することにより、代表者の実践的指導力及び参観者の授業分析力を高める

+

単元計画・(全体的・局面的)学習内容・教授＝学習過程における教材・アプローチ(仕掛け)等の有効性・改善案を検証し、

「知の共有」につなげていく。

仮説設定・計画準備（令和元年度の例）

研究テーマ：運動の楽しさを実感し、意欲的に運動に親しむ子供を育てる
体育科学学習指導：友達と関わり合い、課題を追求するボール
運動系（ゴール型）の学習過程を通して

仮説

第5学年のゴール型において、1単位時間の学習過程に4つの段階
「ひたる」「つかむ」「身に付ける・高める」「振り返る」を設定したり、
協働的問題解決学習に関わる活動を**仕組む**ことによって、
児童は運動の特性に応じた動き方や課題の解決方法が分かり、
運動の特性に応じた技能が身に付いたり（わかる・できる喜び）、
課題意識をもって主体的に運動に取り組んだり（動く喜び）、
仲間とともに運動の課題を解決することのよさを実感したり
（かかわる喜び）することができるだろう。

→具体的な仕掛け（手立て）へ

親川先生が作成した単元構造図を確認しましょう

【第2学年】 E 球技 「イ ネット型 バレーボール」

単元目標	知識及び技能									
	バレーボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。 ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようになる。									
単元目標	生徒などの自己の課題を参照し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。									
	競技に積極的に取り組みるとともに、フーズアブレイをせらうとすること、仲間などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の強みに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなど、健康・安全に気を配ることができるようにする。									

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10											
学習の展開	出席確認 健康・安全の確認 準備運動																				
	反復練習(キャッチボール・ボール慣れ・片手パス・対人パス)																				
	・新元目標 ・反復練習 ・対人パスの 確認	お手本映像の視聴	スモールステップ① レベル別の練習方法を提示する	【スパイク練習】 空いている場所に落とす			リーグ戦														
	ボール慣れ パス練習 ・片手パス ・対人パス	アンダーハンドパス練習	【個別練習】 ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス 二つの技術の中で 自分の課題にあった 練習方法を考える。	スモールステップ② スパイク、オフボール																	
	・キャッチボール ・ランパス ・ワンパス	オーバーハンドパス練習	【チーム練習】 チームの課題に応じた 練習方法を考える。																		
	課題把握のための ICTの活用 ・自分の動きを確認する ために動画撮影をする	成果の確認とゲームの目標設定	成果の確認とゲームの目標設定																		
40	試みのゲーム	【円陣パスゲーム】 1チーム5～6名	【ミニゲーム】 ・アンダーのみ ・オーバーのみ			【ミニゲーム】			進捗のまとめ												
50	片付け・振り返り 時間外の課題確認 学習カード(ロイノート)での振り返りと次回への見通し																				

指導	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

知識及び技能

バレーボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、**技術の名称や行い方**、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。

ネット型では、**ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動き**によって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。

思考力、判断力、表現力等

攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。

学びに向かう力、人間性等

球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについて話し合いに参加しようとすること、**一人一人の強みに応じたプレイなどを認めよう**とすること、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。

指導機会：思・判・表① 評価機会：思・判・表①

本時の指導目標及び評価について

主眼

自己の上達のポイント別に応じた練習方法を選択したり教具を活用したりする活動を通して、自己の課題の解決に向けて運動の取り組み方を工夫することができるようにする。

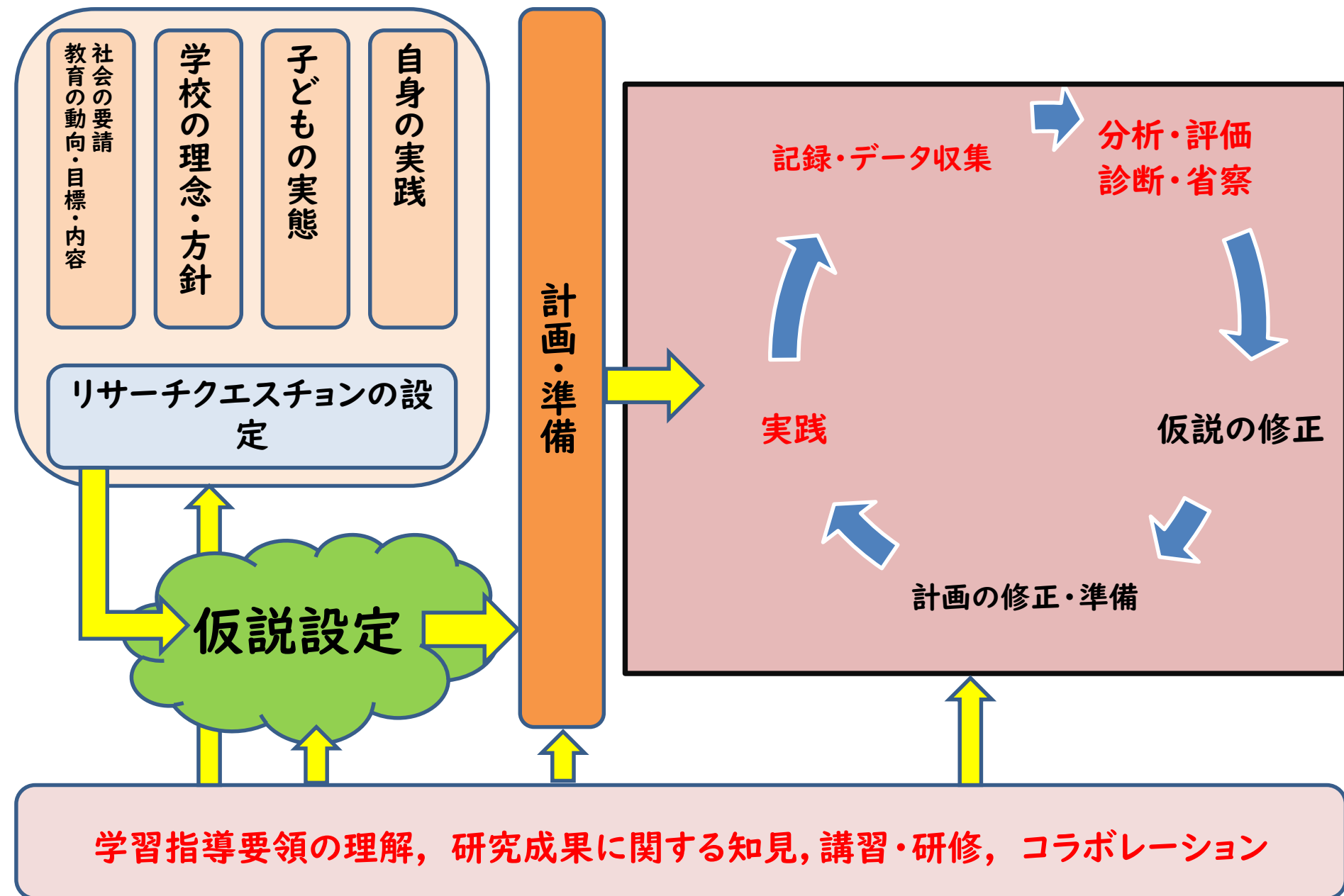
(思考力, 判断力, 表現力等)

評価規準(評価方法)

レベルアップのポイントに応じた練習方法を選択したり、方法を工夫したりして練習に取り組んでいる。

(様相観察)

授業研究イメージ



記録・データ収集：リフレクションシート活用

ねらい

「リフレクションシート」を使った授業観察，分析，協議会のあり方を演習する（データの活用）

視点をもって授業を観察，分析，評価，診断，省察し，授業力，分析力，省察力の向上を図る

本時の主眼

自己の課題に応じた練習方法の選択や教具の活用を通して、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫することができるようにする

(思考力・判断力・表現力等)

(生徒の) 学習活動・内容

準備運動

(準備体操, キャッチボール, 片手パス, 対人パス等)

(教師の) 仕掛け(手立て)

けがの防止と主運動につなげる**ために**, 体操やバレーボールに繋がる動きを取り入れた準備運動を行わせる。

本時の活動とめあての確認

主体的に活動に取り組ませる**ために**, 生徒の発言や気づきを基にめあてを設定する。その際, 解決すべき課題を自分事として捉えさせる**ために**, 前時の既習内容を想起させたり, 発問による思考を引き出したりする。

(生徒の) 学習活動・内容

(教師の) 仕掛け(手立て)

スモールステップタイム

練習の見通しを持つ**ために**、前時までの学習カードから自分の課題を確認させる。

個人の課題に合った練習方法を選択できるようにする**ために**、ポイント別に段階的な練習の場を設定する。その際、ルーズブリック表を活用し、スモールステップの流れを視覚化する。

練習方法の工夫をしたり、相互の出来映えを共有したりする**ために**、各練習のグループ・ペア毎に話し合いの場を設定する

(生徒の) 学習活動・内容

(教師の) 仕掛け(手立て)

タスクゲーム

練習の成果をタスクゲームで活かすことができるようにする**ために**, サーブやスパイクを禁止し, パスのみのゲームであることを全体で確認する。

味方に操作しやすい位置にボールをつなぐことを意識**できるように**, タスクゲームのルールを工夫する。

まとめ
本時の学習の振り返り

次時の活動の見通しを持たせるために, 学習カード(ロイロノート)を使用して, 一人一人に振り返り活動を行わせる。その際, 文章に表すことが苦手な生徒を考慮して, 例を示したり, 選択肢を設けたりする。

生徒の様相観察を行いましょう

	生徒の姿	理由	具体的改善策		生徒の姿	理由	具体的改善策
○準備運動、予備運動、前時の確認をする 怪我の予防のため、種目の特性に応じた準備運動を行う	生徒の姿 (何が起きた)	理由 (どうして起きた)	具体的改善策 (だからどうする)	○自己の課題に応じた練習をする: (1) 自分の体力に応じた技の練習をする、(2) チャレンジしたい技のビフォー映像の撮影をする、(3) 発表会へ向けた連続技の構成を考え、練習をする	生徒の姿 (何が起きた)	理由 (どうして起きた)	具体的改善策 (だからどうする)
○前時のビフォー映像を確認し、自分の課題を発見する:ワークシートに記入 それぞれが考えた運動のコツを共有するために、やってみた感想・行い方を提示する 《ワークシート・共有シートの活用》				【練習のヒント】(1) ビフォー映像を見て課題を掴む、(2) 掲示された運動のコツを見る、(3) 見本となる映像を見る、(4) 他者からアドバイスを受ける、(5) 練習した内容や意識したポイントを記録する			
○自己の課題に応じた練習をする: (1) 自分の体力に応じた技の練習をする、(2) チャレンジしたい技のビフォー映像の撮影をする、(3) 発表会へ向けた連続技の構成を考え、練習をする 【練習のヒント】(1) ビフォー映像を見て課題を掴む、(2) 掲示された運動のコツを見る、(3) 見本となる映像を見る、(4) 他者からアドバイスを受ける、(5) 練習した内容や意識したポイントを記録する 技能の向上を実感するために、ビフォー映像との比較を行う 《タブレット端末の活用》				他者から助言を受けやすくするために、事前に見るポイントを仲間に伝える ○本時の振り返りを行う 課題解決のために、有効な練習方法を選択することができたか			

「み」ることを通して

メモを取り（授業中），まとめ（授業後），
協議の材料にしましょう

(児童生徒たちだけでなく、我々も)

「みる」ということ

見る(外面)

→ 診る(評価・診断)

視る(多角的)

看る(気を配って世話的に)

回る(階層的に過去を踏まえて)

観る(内面を観る)

鑑みる(手本に照らしたり、他と比べたりして考える)

「観察」とは、
「み」抜いて
「察する」こと

様々な「み」ることで、
思考する、試行する材料を得る、思考力を高める、志向する

リフレクションシートの活用 (観察結果の分析, 評価, 診断)

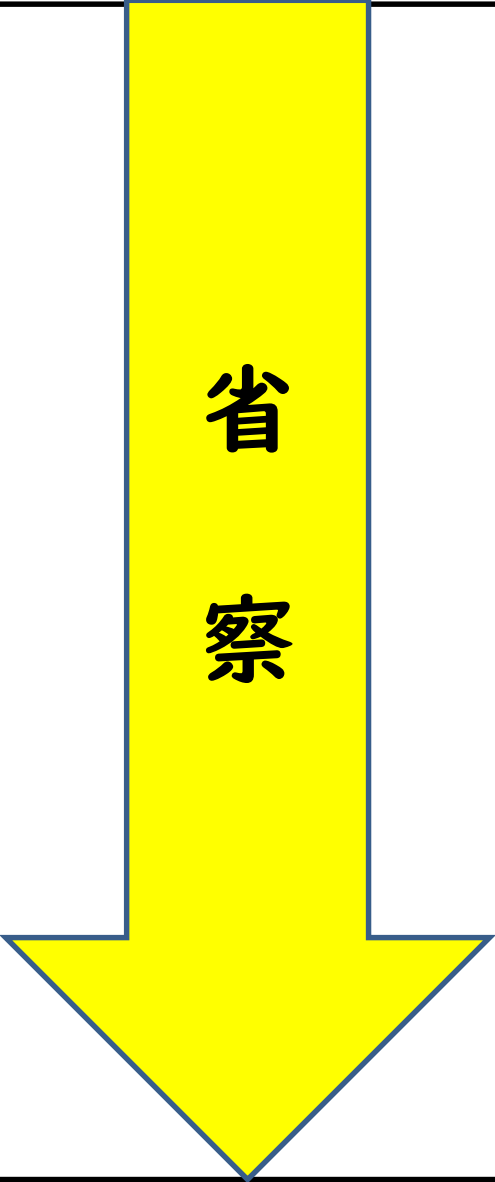
- 出来事(の分析・評価)

- 原因(の診断)

- 改善策(の提案)

→ 仮説の修正

→ 計画・準備の修正



省
察

分析・評価とは

分析：結果（出来事・事実）を明らかにすること

→得られた結果を説明する（どのような結果が得られたのか）

分析には視点が必要である

評価：結果を判断すること

→得られた結果の善し悪しを説明する（成果として十分か否か）

- 同じ対象者における過去との比較で
- 異なる対象者の同一・類似課題への取り組み成果との比較で

診断・省察

診断：結果をもたらした原因を探ること

→得られた結果の原因を説明する（どうしてその結果は得られたのか）

***考察は，評価・診断したことが研究においてどのような意味を持つのか検討すること**

省察（リフレクション）

- 実践過程・結果を反省的に振り返る
- 準備・計画時の思考・想いなども含めて振り返る
- 自分自身を主観的・客観的両方の立場から振り返る



改善へ（仮説・計画の修正へ）

授業改善に求められる力量

省察力

我々（教員）は「反省的実践家（reflective practitioner）」である。

リフレクション（reflection）

- 行為の中での省察（reflection in action）
状況と対話しながら瞬時に思考し行動すること
- 行為についての省察（reflection on action）
行った思考や理解の意味をふり返り，考えること

（Schön, 1983）

反省的实践家：不确实で曖昧な予測しがたい問題状況に対して、それとの絶えざる対話を通して、自己の経験から蓄積した
＜実践知＞を用いて探りを入れ、そうした介入的活動への反省（reflection）を基本にして自己の専門的力量を開発していく専門職

（Schön, 1983）

優れた教師は、予期せぬ「出来事」が起こり得る環境の中で、その出来事を自らの経験則に照らし合わせながら振り返り、自分の考えや指導法の枠組みを改変している。そうした省察→改善の繰り返しを通して専門的力量（知識・技能）を高めている。

リフレクションシートへの記入にあたり 改善（提案）への思考

- もう一度、同じ授業を実践するならば、どのような点を、どのように修正・改善したらいいでしょうか
- 仕組んだ仕組みをより効果的に機能させるために、どのような修正・改善が図られるとよいでしょうか
- 自分の学校で同じ領域の授業を実践する場合、どのような点を、どのように修正・改善したら効果的でしょうか
- 他領域での授業を実践する場合、どのような点を、どのように修正・改善したら効果的でしょうか

ボール運動系 知識及び技能

小学校 第1・2学年	運動遊びの楽しさに触れる ○行い方を知る ●易しいゲームをする ＊ボールゲーム ・簡単なボール操作と攻めと守りの動きによって、易しいゲームをする ＊鬼遊び ・一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどをする
第3・4学年	運動の楽しさや喜びに触れる ○行い方を知る ●易しいゲームをする ＊ネット型ゲーム ・基本的なボール操作とボール操作をできる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをする
第5・6学年	運動の楽しさや喜びを味わう ○行い方を理解する ●技能を身に付け、簡易化されたゲームをする ＊ネット型 ・個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームをする

ボール運動系 知識及び技能

中学校 第1・2学年	勝敗を競う楽しさや喜びを味わう ○球技の特性や成り立ち, 技術の名称や行い方, その運動に関連して高まる体力などを理解する ●基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開する ＊ネット型 ・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をする
中学校 第3学年 高等学校 入学年次	勝敗を競う楽しさや喜びを味わう ○技術の名称や行い方, 高まる体力, 運動観察の方法などを理解する ●作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する ＊ネット型 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする
高等学校 入学年次の 次の年次 以降	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう ○技術などの名称や行い方, 体力の高め方, 課題解決の方法, 競技会の仕方などを理解する ●作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する ＊ネット型 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をする

ボール運動系 思考力, 判断力, 表現力等

小学校 第1・2学年	簡単な規則を工夫したり, 攻め方を選んだりするとともに, 考えたことを友達に伝える
第3・4学年	規則を工夫したり, ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに, 考えたことを友達に伝える
第5・6学年	ルールを工夫したり, 自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに, 自己や仲間の考えたことを他者に伝える
中学校 第1・2学年	攻防などの自己の課題を発見し, 合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに, 自己や仲間の考えたことを他者に伝える
中学校 第3学年 ・ 高等学校 入学年次	攻防などの自己やチームの課題を発見し, 合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに, 自己や仲間の考えたことを他者に伝える
高等学校 入学年次の 次の年次 以降	生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに, 自己や仲間の考えたことを他者に伝える

ボール運動系 学びに向かう力, 人間性等

小学校 第1・2学年	・運動遊びに進んで取り組む ・規則を守り誰とでも仲よく運動をする ・勝敗を受け入れる ・場や用具の安全に気を付ける
第3・4学年	・運動に進んで取り組む ・規則を守り誰とでも仲よく運動をする ・勝敗を受け入れる ・友達の考えを認める ・場や用具の安全に気を付ける
第5・6学年	・運動に積極的に取り組む ・約束を守り助け合って運動をする ・勝敗を受け入れる ・仲間の考えや取組を認める ・場や用具の安全に気を配る
中学校 第1・2学年	・球技に積極的に取り組む ・フェアなプレイを守ろうとする ・作戦などについての話合いに参加しようとする ・一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする ・仲間の学習を援助しようとする ・健康・安全に気を配る
中学校 第3学年 ・ 高等学校 入学年次	・球技に自主的に取り組む ・フェアなプレイを大切にしようとする ・作戦などの話合いに貢献しようとする ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする ・互いに助け合い教え合おうとする ・健康・安全を確保する
高等学校 入学年次の 次の年次以降	・球技に主体的に取り組む ・フェアなプレイを大切にしようとする ・合意形成に貢献しようとする ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする ・互いに助け合い高め合おうとする ・健康・安全を確保する

ネット型のボールや用具の操作とボールを持たないときの動きの例

技能	小学校 第5・6学年	中学校 第1・2学年	中学校第3学年・ 高等学校入学年次	高等学校入学年次の 次の年次以降
様相	個人やチームによる攻撃と防御によって、簡易化されたゲームをする	ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をする	役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする	状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をする
ボールや用具の操作	・自陣のコート（中央付近）から相手コートへのサービス ・味方が受けやすいようにボールをつなぐこと ・片手、両手、用具を使って相手コートへの返球	・サービスでは、ボールやラケットの中心付近で捉えること ・ボールを返す方向にラケット面を向けて打つこと ・味方が操作しやすい位置にボールをつなぐこと ・相手側のコートの空いた場所にボールを返すこと ・テイクバックをとって肩より高い位置からボールを打ち込むこと	・サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと ・ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと ・攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さや位置にボールを上げること ・ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすること ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手のコートに打ち込むこと ・ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすること	・サービスでは、ボールに変化をつけて打つこと ・ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低をつけて打ち返すこと ・ボールに回転をかけて打ち出したり、回転に合わせて返球したりすること ・変化のあるサーブに対応して、面を合わせてレシーブすること ・移動を伴うつなぎのボールに対応して、攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さや位置にトスを上げること ・仲間と連携してネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすること ・ボールをコントロールして、ネットよりも高い位置から相手側のコートに打ち込むこと ・チームの作戦に応じた守備位置から、拾ったりつないだり打ち返したりすること
ボールを持たないときの動き	・ボールの方向に体を向けることとボール方向への移動	・相手の打球に備えた準備姿勢をとること ・プレイを開始するときには、各ポジションの定位置に戻る ・ボールを打ったり受けた後、ボールや相手に正対すること	・ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること ・連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと	・ラリーの中で、相手の攻撃や味方の移動で生じる空間をカバーして、守備のバランスを維持する動きをすること ・相手の攻撃の変化に応じて、仲間とタイミングを合わせて守備位置に移動すること ・仲間と連携した攻撃の際に、ポジションに応じて相手を引き付ける動きをすること

参考文献

文部科学省(2018)中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編. 東山書房.

文部科学省(2019)高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 保健体育編. 東山書房.

Schön, D. (1983) The Reflective practitioner : How Professionals Think in Action, Basic Books.